

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>1. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	区長さんとも家が近いことから区の会議に積極的に住民として参加されてコミュニケーションを取っておられる事が伺えた。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念をふまえ月間の個人目標が掲げられ、日々どのような状況であったか、日報に記入され振り返りがされている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣にお茶サロンと言う憩いの場所があり、利用者も参加し交流を持たれている。また事業所としても地域に理解していただけるように、サロンを利用し講話を計画している。他に夏祭り・餅つきなどの行事がありお餅は近所に配られる。等地域との交流も盛んにされていると伺えた。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	現在の状況を正しく評価し、評価される事で今以上のサービス向上を目指し、利用者・家族に満足していただけるような施設運営にしたいと認識されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>話し合われた内容で必要に応じ事業所会議で話し合わせ改善に取り組まれている様子がうかがえた。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>地域に施設として何かできることはないか？お茶サロンで頂いた意見を基に、地区会議に参加されている様子が伺えた。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>生活状況・健康状況など請求書と一緒に同封させていただき報告している。また散歩に出たときの写真なども取っており面会時に見てコミュニケーションを取っている。金銭管理は必ず日報に記載されている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見・不満等面会時にその都度伺うことができるように、普段からの雰囲気作りに気をつけている。また敬老会は家族と共に昼食を取っていただき、その後の時間を運営会議に充てるなどの家族との時間を有効に使っていただくように配慮している様子も伺えた。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>氏名をつけない・ユニホームも着ない普段着で接し、利用者さんにとって「家からの延長」という認識でコミュニケーションを取っている様子が伺え、また家族にはスタッフの顔写真を玄関に貼って覚えてもらうなどの工夫をしている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5.人材の育成と支援</b>					
10	19	<b>職員を育てる取り組み</b> 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	オリエンテーション・一人立ち・2ヶ月研修・6ヶ月研修・認知マナー研修、中堅研修などの事業所内のマニュアルが作成されている。		すばらしいマニュアルを活用し、育成に励んでいただきたい。また施設外の研修に参加できるように計画も必要と思われます。
11	20	<b>同業者との交流を通じた向上</b> 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者の施設部会にも職員を交えた交流会（忘年会など）を計画している。また施設の見学会などの計画もしている。		職員同士の交流ができる機会勉強会などを通じ、共有できるものを見つけサービスの向上・意欲につながる取り組みが必要と思われます。
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<b>馴染みながらのサービス利用</b> 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	混乱しそうな利用者さんには事前訪問の回数を増やし、関係を保つ努力をしている。また時間を掛けながら家族とコミュニケーションを取り、利用者さんが使用していた「ダンス」なども使用するなど工夫が伺えた。		
<b>2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<b>本人と共に過ごし支えあう関係</b> 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	生命に危険がない限り行動の抑制はされおらず、本人の意志のもとに生活されている。行動には理由があり行動前に気付き対応している。フリーという業務もあり人員的にも対応が可能である。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>意志を明確にできる利用者は、近況を家族に話し、コミュニケーションを取りながら対応している様子が伺えた。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1回全員で計画し、家族に説明、行動し面会時に家族への説明もされ意見も伺いフィードバックできている。(入浴嫌いの利用者さんの話より伺い知ることができた)</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>夕方の終礼時に状況を共有し、日報に記入。また家族にも報告されている。状況に応じ計画の変更もされている。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>入院時の対応、週末期の対応はできるだけ意向聞いておられるが、退所時にしっかり説明がなされ、再度利用希望時は更なる同意書を頂いている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力医との関係を築きながら、家族との情報交換もされている。またターミナルの利用者さんもおられ、医師・施設・家族と良い関係ができていることが確認できた。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>往診と事前打ち合わせにより対応し、時に家族も付き添っていただき、残された時間を共有していただけるように配慮されている。また急変時の連絡網もできている。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>仕事中の私語・言葉使いに注意している。またお互いに注意しあっている。記録等については施設外に持ち出し禁止の対応を取っている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>基本的な予定に関しては、朝礼時にリーダーが決めているが、その時々の利用者の様子に合わせて一日の行動予定を柔軟に対応している。</p>		

あっといーずホーム

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	フロアによっても違うが、利用者と一緒に盛りつけ片付けを行っておられた。また「おやき作り」もやっておられ、職員と利用者が笑顔になって作っていた場面が印象的であった。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には2回/週であるが希望時は対応している。また希望に応じ家族と入浴することもある。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	小さな畑にネギが植えられており、職員に声を掛け草取りに行ったり、土いじりが出来る。花の好きな人にはお花を育てる事も出来、近くに山があり気晴らしの庭探索が出来るように環境が整っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望時は一緒に散歩に出かける。敷地より道を挟んで田んぼがあり気晴らしが可能である。又お買い物にも1人から3人は出かけている。行事担当の職員がおり毎月1回大きな外出を計画している(4月はお花見をおこなった)		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	基本的には鍵を掛けない生活をしている。玄関は人の出入りによりチャイムが鳴る方式をとっている。		

あっといーずホーム

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>区の中の防災計画にも入っており、消防署の参加を頂き先日訓練を行った。地域の人に施設内の見学をしてもらい、もしもの時は人海戦術が出来るようにマニュアルも整えられている。</p>		<p>いざというときに行動が出来るように、日頃から訓練への参加、マニュアルの見直し活用が大切だと考えますが、職員と利用者が共に防災・災害訓練に参加しておく事も必要に思います。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取状況、水分摂取状況が細かくチェックされている。食事は係の人が2週間の献立を考えているが、栄養バランスについては、今後栄養士に見てもらう予定でいる。外食を希望する利用者さんは希望に応じ外食を、また食事療法が必要な患者さんには食器を工夫する等の配慮がされている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>お掃除は朝食が終了後日勤者が行う。散歩の最中にお花を摘んだりして飾っている。時に近所の方より散歩中お花を頂くこともある。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人の使い慣れたタンス、お位牌なども持ってきている。またある方は長年共にしたインコを連れてきており現在も共に生活しているなど、居心地よく過ごせる工夫をされている。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。